



町ぐるみで献血推進を

ひとのためわが身のために

昨年から全国的に、献血運動が活発に行なわれており、各県には血液センターの設置ならびに移動採血車の配置が著しくと盛況が整い、現在秋田県においては、新聞紙に登場するように各地に採血車を巡回して、善い献血をすすめておられます。

次に献血についての概要を、患者に輸血する方法でご紹介します。みなさんの現在の献血をすすめていただくには、ご理解とご協力をお願いいたします。この保存血液をつくるためのものです。

①血液は貴重で、その量を失えば、生命の危険にさらされます。②患者に対する血液の供給の状況。③輸血の方法には二通りあります。一は健康な人から採血した血液を直接その患者に輸血する方法です。



心配された田植も一部地域を除き順調に終りましたが、手ぬかかな「健康な稲づくり」はこれらが大切です。



楽しい食事

農繁期、とくに田植どきは、農家にとってネコの手も借りたい時期です。こどもも、ぼくたちは友だちと一緒に季節保育所へ。みんなで昼食はいしばん楽しいときです。

〔6月4日、上舟木児童館で写す〕

対する人道的、社会的問題として発展してきたことは、ひいては、われれ自身身問題でもあります。これを解決するため、まじめに努力して行かねばならぬことになっております。

献血と献血制度の必要性。献血は、健康な人から採血し、その血液を保存し、必要に応じて患者に輸血する方法です。献血は、健康な人から採血し、その血液を保存し、必要に応じて患者に輸血する方法です。

これからの大切なこと。心配された田植も一部地域を除き順調に終りましたが、手ぬかかな「健康な稲づくり」はこれらが大切です。

排水にひと役。側こう工事進む。町では、逐年対補助工事、五ヶ年と進んでおります。これは、完成後は非水路となり、大きな役割をはたすことになりま。

広報板

町社福大会

30日公民館で。第二回日赤社、共同募金増強会町社福大会が、町社会福祉協議会主催で、六月三十日公民館公民館で開演されました。

身障者の運動会

6月27日。小学校庭で。県と鹿角町、鹿角町身障者更生協会主催で、第一回県北地区身障者運動会が、六月二十七日日曜日午前十時から鹿角小学校で開くことになりました。

第二次募集

薬屋被服Kが第二次の募集募集中です。六月下旬、七月月上旬発券予定。女子十名、七才未満の方。ご希望の方は、希望書に写真を添えて申し込み下さい。ご希望の方は、希望書に写真を添えて申し込み下さい。○贈贈二名(夫婦でも可)も募集しております。

血圧測定の実施

鹿角地区毎月21日。町では、町民の健康増進のため、毎月各地で健康相談(主として血圧測定)を行なっております。

新協力委員。町では、町民の健康増進のため、毎月各地で健康相談(主として血圧測定)を行なっております。

役場日誌。4日 農業委員会定例会。5日 農業者協議会。6日 中小企業組合会議。7日 賑財産区議会議。8日 日赤分区分会。9日 鹿角町町長会。10日 農林部局長。11日 町長報告書。12日 町出せき省反省。13日 土庫委員会。14日 調査監査、固定資産。15日 概算調査、木庫会。16日 公園、共済組合役員会。17日 町議会議時。18日 福祉社会協議会。19日 福祉社会協議会。20日 民生委員協議会。21日 民生委員協議会。22日 民生委員協議会。23日 民生委員協議会。24日 民生委員協議会。25日 民生委員協議会。26日 民生委員協議会。27日 民生委員協議会。28日 民生委員協議会。

国民年金の免除申請

6月中に。国民年金に加入している方が、保険料を納めた余額が失ったときは、免状を申請できます。免状が認められたら、免状期間中は国民年金の納付が免除されます。

所得がないとき。所得がないとき、被保険者が町役場に申請することになります。免状が認められたら、免状期間中は国民年金の納付が免除されます。

保険料を納めた余額。国民年金に加入している方が、保険料を納めた余額が失ったときは、免状を申請できます。免状が認められたら、免状期間中は国民年金の納付が免除されます。

町では、町民の健康増進のため、毎月各地で健康相談(主として血圧測定)を行なっております。

町では、町民の健康増進のため、毎月各地で健康相談(主として血圧測定)を行なっております。